

八王子つばめ塾 News vol.8 2022/11

つばめ塾設立十周年。無料塾運営の役割を担い、全うする
子どもたちに示したい社会の役割。つばめ塾は代替えではなく、無料塾という独立した存在

**理事長小宮より十周年のご挨拶
(交流会挨拶より抜粋)**

私は八王子市の都営団地の狭い家で「世の中は不公平だ。そして社会はなぜ困っている人を助けてくれないんだ。きっと国とこの社会に見捨てられているんだ」と感じて育ちました。団地には困っている人が大勢いるのに、団地を一步出れば高級車がいっぱい走っています。だから、つばめ塾では、「社会は決して君たちを見捨てていない」というメッセージを塾生に伝えたくて、学習支援に加えて奨学金制度も作っています。

私は家にお金がなかった13歳の頃の自分の感性を忘れず、あの頃の自分に胸を張れる生き方を目指しています。もし、つばめ塾を立ち上げていなかったら、13歳の自分から「結局自分が幸せになればそれでいいのか。結婚して子どもがいて、正社員でボーナスまでもらえて。そうなる」と団地に住むような俺たちなんか関係なくなるんだな」こんな突っ込みを受けると思うんです。そこで、「いや、今

つばめ塾 4つの名誉

1. 塾生が勉強後にわかった！と言って帰っていくこと
2. 卒業生が先生として戻ってきてくれていること
3. 社会の第一線で活躍する人たちがボランティアをしていること
4. 民間団体ながら、返済不要の奨学金制度が運営できていること

は無料塾を開いているよ。毎日全力を尽くしているよ！」と反論したいのです。他人の目は華やかなPRで誤魔化せますが、自分の過去に嘘はつけません。貧しかった頃の自分に恥じない生き方をしたいと思っています。

映像制作の仕事をしていた時ウガンダに取材へ行きました。当時は政府への反乱軍がとてもし暴で、村に押し入っては少年を誘拐し兵士にしています。元少年兵士だった人から、「自分が育った村に襲撃をかける時には先頭に立たされて、親戚を撃ってしまった。もう二度と村には帰れない」と聞きました。「苦しい」の意味が日本と全く違う。ウガンダの子どもたちに何かしたくても、

つばめ塾の禁止事項

**国や行政機関からは
表彰を受けない**

つばめ塾の価値は
塾生への勉強の提供！

浅はかな考えしか浮かばなかったんです。そこで思いついたのが、「人を育てる立場になったら、世界を1mmでも2mmでも良い方向にできる人を育てよう」ということ。つばめ塾の始まりはこの経験で、これが根底にあるので私はつばめ塾を単なるボランティア団体ではなく、人材育成機関だと思っています。日本だけではなく世界までも、良い方向へ導けるリーダーを育てているつもりです。うちのボランティア講師に習っているんだから、そんな能力が塾生の皆に備わっていると固く信じて今日まで運営してきました。これからもつばめ塾をよろしく願います。最低30年はやるつもりで作ったので、あと20年は何があっても運営していきます！

設立10周年記念交流会を行いました。つばめ塾の卒業生、ボランティア講師、支援団体の方、他の無料塾の方、寄付者・支援者のみなさま、ありがとうございました！



十周年記念交流会を開催しました

つばめ塾史の振り返り、皆様のスピーチ
温かい内容に笑顔が絶えない時間でした

10月15日に開催。合計52名もの参加！



今回の交流会は、つばめ塾の卒業生、ボランティア講師、支援団体の方、他の無料塾の方、寄付者・支援者のみなさま、合計52名もの参加がありました。

式次第は、「写真、データで振り返る八王子つばめ塾の十年」「卒業生のスピーチ」「ボランティア講師のスピーチ」「他の無料塾関係者のスピーチ」「理事長挨拶」



保谷いちご塾 小田さん



慈有塾 高木さん

日野すみれ塾 仁藤さん

が前半。講師のスピーチ、他団体の皆様からのスピーチはお祝いの言葉ありPRありでとても楽しく、「これだけたくさん仲間がいる」という心強さを思い出させてもらいました。後半は、歓談時間。それぞれの立場にある参加者の皆様が活発に交流している姿を見て、大変嬉しくあたたかい気持ちになりました。

たくさんの方のメッセージ ありがとうございました

八王子つばめ塾設立十周年に際し、交流会当日の他団体からのメッセージのほか、卒業生、保護者から塾の感想を募りました。ここに一部を紹介いたします。

卒業生より

「つばめ塾設立十周年おめでとうございます。現在、私は理学療法士というリハビリ系の専門学校に進み勉強に励んでいる専門学生一年生です。つばめ塾では中学生の時に数学と英語を教えていただいております。数学、英語に関しては基礎の基礎から見えていただいたことにより、高校の授業に大いに役立ち、基礎問題はもちろんですが、確実に点数を伸ばすことができました。結果が残せたのはつばめ塾の先生方のご指導のおかげであり、また



東京新聞に広告が載りました



「メダカ食堂」がスタート

9月30日付の東京新聞朝刊の広告面に「八王子つばめ塾」の名前が出ました。淵野辺つばめ塾ボランティア講師の鈴木さんご夫妻が、平日に無料でお弁当を差し上げる活動をする「メダカ食堂」というNPO法人を立ち上げます。小宮が理事を務めることになり、その縁で今回の広告面への掲載となりました。興味のある方は、上記QRコードから広告面記事をぜひお読みください。



交流会にてスピーチも！
鈴木さんご夫妻

保護者より

「10年間ありがとうございました。つばめ塾では勉強だけではなく、他のことでもたくさん支援して頂きました。精神的にもとても励まして頂きました。先生方には本当に感謝しています。娘は高校二年生になりましたが、つばめ塾での思い出を今も楽しそうに話します。これからも、つばめ塾の発展を応援しております」